

**第76回 ケアハウスえんれい草
運営推進会議録**

開催日・場所		令和 7 年 1 月 23 日(木) ケアハウスえんれい草 2階 相談室							
出席者		地域住民代表 3名 市職員代表 1名 えんれい草ご家族代表 1名 えんれい草利用者代表 1名 福寿草ご家族代表 1名 忘れな草職員 2名 福寿草職員 1名 えんれい草職員 2名 計 12名							
活動報告	利用者状況	・ 定員 29名 現在利用者数 28名 (内、男性 10名 女性 18名) ・ 各階要介護度状況							
			要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
		1 F	0名	0名	6名	5名	2名	0名	0名
		2 F	0名	0名	8名	7名	0名	0名	0名
	合計	0名	0名	14名	12名	2名	0名	0名	
	・ 入居待機者：4名 (男性 1名、女性 3名)								
	事故並びに ヒヤリハット	発生日時	事 故 内 容						
		11/22 15:40	2階 女性入居者 96歳 要介護2 居室より物音があり訪室。入口の戸は開いており車椅子を背にして入り口に向かって膝を立て床に座っている。介助にて車いすに座って頂き、腰部・臀部付近を確認するが腫れや変色は見られず痛みの訴えもない。本人より「歯磨きをしようと思い洗面台まで来て歯磨きしようとした時にふらつき、入り口のドアに掴まったら自然にドアが開いて座り込んでしまった」と話す。歯磨きと洗顔を行いベッドに戻るまで見守りを行った。 〈今後の対応策として〉 移動の際、歩行に自信がない時はコールを押すよう伝える。						
		11/22 21:40	2階 女性入居者 96歳 要介護2 見守りセンサーが反応したタブレットで様子を確認するとベッドから立ち上がったので居室に向かい戸を開けようとしたところで物音が聞こえた。訪室するとトイレ入口で長座位になっている。本人より「トイレに入ろうと取っ手を掴み開けたが戸が開くのと同時に身体ごと持って行かれ、スルスルと座り込んだ」と話す。右ひじに裂傷と 1cm大の内出血あるが他に痛みの訴えはない。怪我の処置を行いバイタル測定するが数値はいつもと変わらず、その後も不調の訴え無く経過する。 〈今後の対応策として〉 上肢・下肢共に筋力低下、バランスを崩しやすくなっているため移動する際は必ずコールを押すよう伝える。						
		11/26 9:30	2階 男性入居者 94歳 要介護1 シーツ交換の際、布団をご本人が持ち上げ方向転換した際、バランスを崩し転倒する。外傷や痛みの訴えもなく経過する。 〈今後の対応策として〉 シーツ交換時、布団の移動をご自身で行うときは付き添いバランスを崩しそうなときは体を支えて転倒防止に努める。						
11/27 5:00		2階 女性入居者 90歳 要介護1 コールがあり訪室するとトイレ内で倒れている所を発見する。トイレの戸は閉まっておりスリッパも散乱していたためご本人に状況を確認するが全く覚えておらず背中痛みの訴えを訴える。自ら立ち上がろうとしたため介助しベッドまで移動する。 BP 146/54 P56 T36.3℃ 背中の痛みが継続したため翌日、深川市立病院受診しレントゲン撮影行いが骨折等はつきりせず後日 MRI 検査予約、痛み止めが処方となる。その後の MRI 検査で第8胸椎にヒビが見られ骨粗鬆症の注射を打ち帰所。この時点で痛みの訴えは消失している。 〈今後の対応策として〉 夜間帯の訪室回数を増やし状況確認を行う。							
12/4 8:15		2階 男性入居者 88歳 要介護1 朝食後の内服薬を他の入居者に服薬させた後に気が付き管理者へ報告。経過観察を行うがバイタルの変化、体調の変化なく経過する。ご家族へ連絡し謝罪しました。 〈今後の対応策として〉 与薬する際は、食堂のテーブルに貼ってある名前を確認し、本人にも薬袋の氏名を確認してもらう。							
12/7 17:05	1階 男性入居者 94歳 要介護3 1階食堂の席の横であぐら座りになっている所を発見する。直前まで他の入居者と将棋をしており、終わって席を立った後で床に座り込んでしまった様子。外傷なく痛みの訴えなく経過される。 〈今後の対応策として〉 職員が入れ替わりの時間帯だったため入居者の所在を確認し注意を行っていく。								

		12/19 15:00	1階 男性入居者 94歳 要介護3 「ドン」と音がしたため訪室。クローゼット前で座り込んでいる所を発見する。介助にて座って頂き身体確認するが痛みや変色なく経過する。 〈今後の対応策として〉 下肢筋力の低下によりバランスを崩しやすくなっているため移動するときは気を付けるよう声掛けを行う。
		12/22 19:00	2階 女性入居者 96歳 要介護2 コールがあり訪室するとベッドとソファの間で長座位になっている。自分で立ち上がることができなく介助を行う。身体確認を行うと、尾てい骨付近に薄く発赤が見られたが本人より「今転んだ所は痛くないが、前に転んだ所が痛いから湿布を貼ってほしい」との要望あり両側肩甲骨と腰に手持ちの湿布4枚を貼付する。 〈今後の対応策として〉 移動時に歩行が不安な時は必ずコールを押すようお願いし、今後も声掛けを継続していく。
		12/23 14:10	2階 女性入居者 95歳 要介護2 居室より「助けて」と声があり訪室。トイレのドア付近で座り込んでいる所を発見する。「トイレ排泄後立ち上がり、また座ろうとした時に座り損ねた」と話される。 なお、ズボンやパンツは下げたままだった。発赤や腫脹は見られなかった。 〈今後の対応策として〉 訪室回数を増やし様子確認を行う。
		12/29 18:20	1階 男性入居者 94歳 要介護3 夕食後、食堂から居室に戻る際、居室のドアを開けたがドアが戻ってしまい床に座り込んでしまった。廊下の手すりにつかまってもらい一部介助にて立ち上がる。変色や痛みの訴えなく経過する。 〈今後の対応策として〉 前回も同様のことがあったため、居室に戻る時はドアを開けておくか付き添いを行う。
		12/31 20:20	2階 女性入居者 96歳 要介護2 コールがあり訪室すると、ベッドを背に冷蔵庫前で座り込んでいる所を発見する。発見時下衣が上がっていなかった。介助にて立ち上がり下衣を直す。本人より「トイレから戻る途中で尻もちをついたが低い所から落ちたから大丈夫だよ」と話す。 臀部・腰部を確認するが変色は見当たらない。 〈今後の対応策として〉 下衣が上がっていなかったため歩行しづらかった。下衣を上げてから移動するよう声掛けを行う。
		1/6 5:45	1階 男性入居者 94歳 要介護3 ベッド横の床で掛け布団の上に座り立てずにいる所を発見する。本人に確認すると「ベッドからずり落ちた」と話す。介助にて立ち上がりトイレにて排泄。歩行状態はいつもと変わらず変色も見られない。 〈今後の対応策として〉 訪室回数を増やし様子観察を強化する。
		1/17 10:15	1階 男性入居者 94歳 要介護3 廊下で「ゴロン」と音がしたため確認すると居室前の廊下で座り込んでいる所を発見、シルバーカーも横になっていた。介助にて立ち上がり、その後一人で居室へ入る。時間を置き身体確認を行うが変色や痛みの訴えなく経過される。 〈今後の対応策として〉 歩行状態が不安定な時は付き添いを行う。状況に応じて車椅子を使用する。
利用者活動状況		・ 12月19日 クリスマス会 ・ 1月16日 新年会	
職員研修状況		・ 1月20日 ND ソフトウェア株式会社主催 ほのぼのNEXT実施記録 Care Palette 活用セミナー(ZOOM) 相談員参加	
その他		・ 11月20日～12月17日までパチンコダイナム様より地域貢献の一環として高齢者向けパチンコ台を1台無償で貸していただきました。	
質問・意見等		【町内会代表より】 ・ 同じ人の事故・ヒヤリハットが多いが、えんれい草ではどの程度の介助が必要な方が対象ですか。 【管理者より】 ・ 一人で居室のトイレまで行ける方が入居条件の一つとなっています。 【市職員代表より】 ・ 企業から地域貢献のお話しはどれ位の頻度で来るのですか。 【生活相談員より】 ・ 地域貢献のお話しは今回初めて来ました。	
次回会議までの継続課題		無 ・ 有 ()	
次回会議開催予定		令和7年3月27日(木曜日)午前10時30分～ ケアハウスえんれい草 2階相談室	